



平成27年12月11日

各 位

会 社 名 山陽特殊製鋼株式会社  
代表者名 代表取締役社長 武田 安夫  
(コード番号 5481)  
問合せ先 総務部長 須多 敦子  
(TEL. 079-235-6003)

## メキシコ合衆国における素形材事業会社の設立および素形材事業の開始について

当社は、平成27年12月11日開催の取締役会で、メキシコ合衆国において素形材製品の製造・販売を行う現地法人として「Sanyo Special Steel Manufacturing de Mexico, S.A. DE C.V.」を設立し、事業を開始することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 目的

メキシコにおける自動車産業は、米国への自動車輸出拠点として成長し、今後も平成26年(2014年)実績の3,200千台から平成32年(2020年)には5,000千台程度まで拡大する見通し(出所;国際自動車工業連合会)であります。

こうした中、メキシコには日系および欧米系ベアリングメーカーが近年相次いで進出しており、中長期的にベアリング前工程の現地生産需要の拡大が期待されます。

当社は、第9次中期経営計画(平成26年度～平成28年度)において、素形材事業をはじめとする非鋼材事業の強化を掲げております。素形材事業の規模については平成25年度の1.5倍にする計画を実行中であり、昨年9月に、タイのSSSP(Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.)を設立し、今年の12月から量産体制がスタートしました。

メキシコに関しても検討を進めた結果、今般、「鍛造-旋削-貫製造プロセス」を備えた素形材製造会社を設立することを決定いたしました。メキシコにおける素形材製造・販売拠点を整備することで、成長市場におけるサプライチェーンを早期に確立し、グローバルにビジネスを展開する需要家のニーズに応えるとともに、素形材事業の拡大を図ってまいります。

メキシコにおける鍛造-旋削-貫製造プロセスは、ベアリング用素形材分野の日系メーカーとして初めてとなります。会社規模は、当社の主力海外拠点である中国のNSSP(寧波山陽特殊鋼製品有限公司)と同等以上であり、太平洋を挟んだ巨大市場に素形材を供給できる体制が整備される事となります。

また、メキシコへの進出を決定したことにより、素形材事業に関して、日本(サントクテック株)、中国(NSSP)、米国(Advanced Green Components, LLC)、インド(Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.)、タイ(SSSP)、メキシコの世界6極体制が整うこととなります。

今後は、他社との連携も含め、製造品種の拡充、ならびに鍛造-旋削-貫製造プロセスに熱処理を加え、高付加価値化を検討し、拡大する需要家のニーズに応えてまいります。

## 2. 現地法人の概要

(1) 名称	Sanyo Special Steel Manufacturing de Mexico, S.A. DE C.V. (和文名称：サンヨー・スペシャル・スチール・マニュファクチャリング・デ・メキシコ)
(2) 所在地	メキシコ合衆国 グアナファト州またはハリスコ州内工業団地（予定）
(3) 代表者	田中 延幸（当社 取締役副社長）
(4) 事業内容	ベアリング用素形材（鍛造品、旋削品）の製造及び販売 注：当社の鋼材を使用して鍛造、旋削加工を施した素形材製品を製造し、ベアリングメーカー等に販売します。
(5) 資本金（注）	約 50億円（増資後）
(6) 設立年月日（注）	平成27年11月12日
(7) 株主	当社（100%）
(8) 工場面積	約 110千㎡
(9) 主要設備	鍛造機、旋削加工機
(10) 生産規模	約 2,000t/月（予定）
(11) 従業員数	約 450人（予定）
(12) 事業開始時期	平成29年(2017年) 9月（予定）

(注)事業化調査を目的として設立した会社(資本金：2万ペソ/約140千円)の増資を実施します。

## 3. 今後の見通し

本件が当期(平成28年3月期)の連結業績に与える影響は軽微であります。

(ご参考)

<工場建屋イメージ>



<新会社所在地>



<ベアリング用素形材の製品例>



以上